

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の概要について

National Institute of Special Needs Education



(研究所 (左) と筑波大学附属久里浜特別支援学校 (右))

国立特別支援教育総合研究所
(<https://www.nise.go.jp/nc/>)

目次

I 研究所の概要

1. 沿革、役員・職員数、財政規模
2. 組織図

II 研究所の活動

1. 研究所の使命・目標
2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動
 - ①研究活動
 - ②研修事業
 - ③情報普及活動

国立特別支援教育総合研究所の位置



三浦半島



研究所周辺

住所:神奈川県横須賀市野比5-1-1
電話:046-839-6803(代表)

I 研究所の概要



1. 沿革、役員・職員数、財政規模

沿革

| | |
|-------------------|-----------------------------------|
| 昭和46年10月 | 国の所轄機関として国立特殊教育総合研究所設置 |
| 平成13年 4月 | 独立行政法人化（主務大臣：文部科学大臣） |
| 平成19年 4月 | 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更 |
| 平成20年 4月 | 発達障害教育情報センター設置 |
| 平成28年 4月 | インクルーシブ教育システム推進センター設置 |
| 平成29年 4月 | 発達障害教育推進センター設置（発達障害教育情報センターの機能拡充） |
| 令和3年4月～ 令和7年3月 | 第5期中期目標期間（令和5年度は第5期中期目標期間の3年目） |

役員・職員数 R5.4.1時点

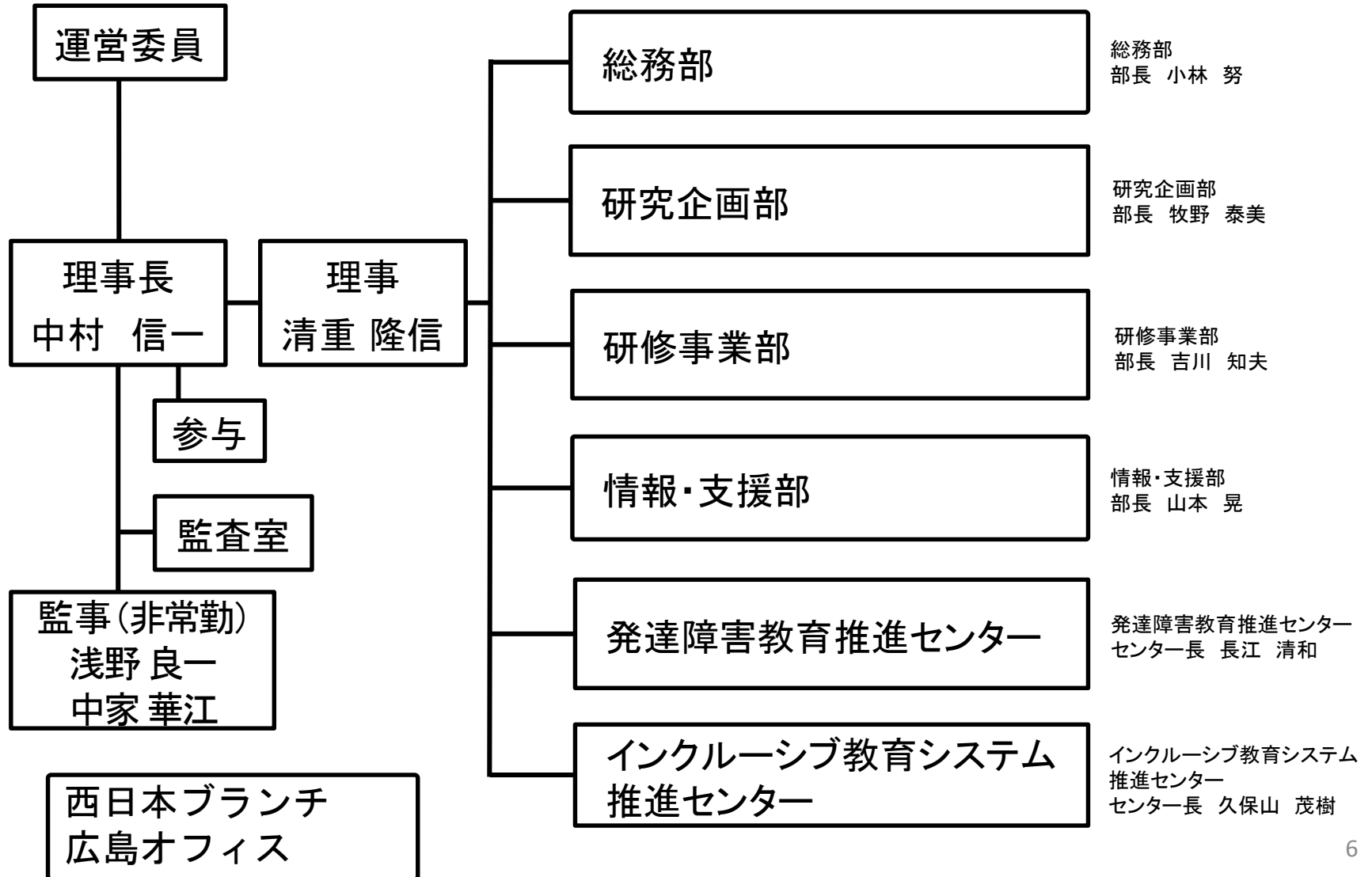
| 合計 | 70(2) |
|-----|-------|
| 役員 | 2 (2) |
| 研究職 | 35 |
| 一般職 | 33 |

令和5年度の財政規模

| 区分 | 金額(千円) |
|----------|-----------|
| 運営費交付金 | 1,057,851 |
| 施設整備費補助金 | 78,064 |

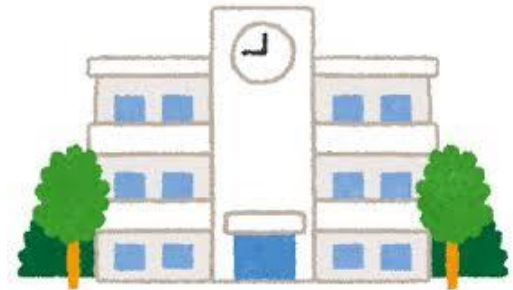
※()は非常勤で外数

2. 組織図



Ⅱ 研究所の活動

1. 研究所の使命・目標



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に係る政策体系図

国の政策

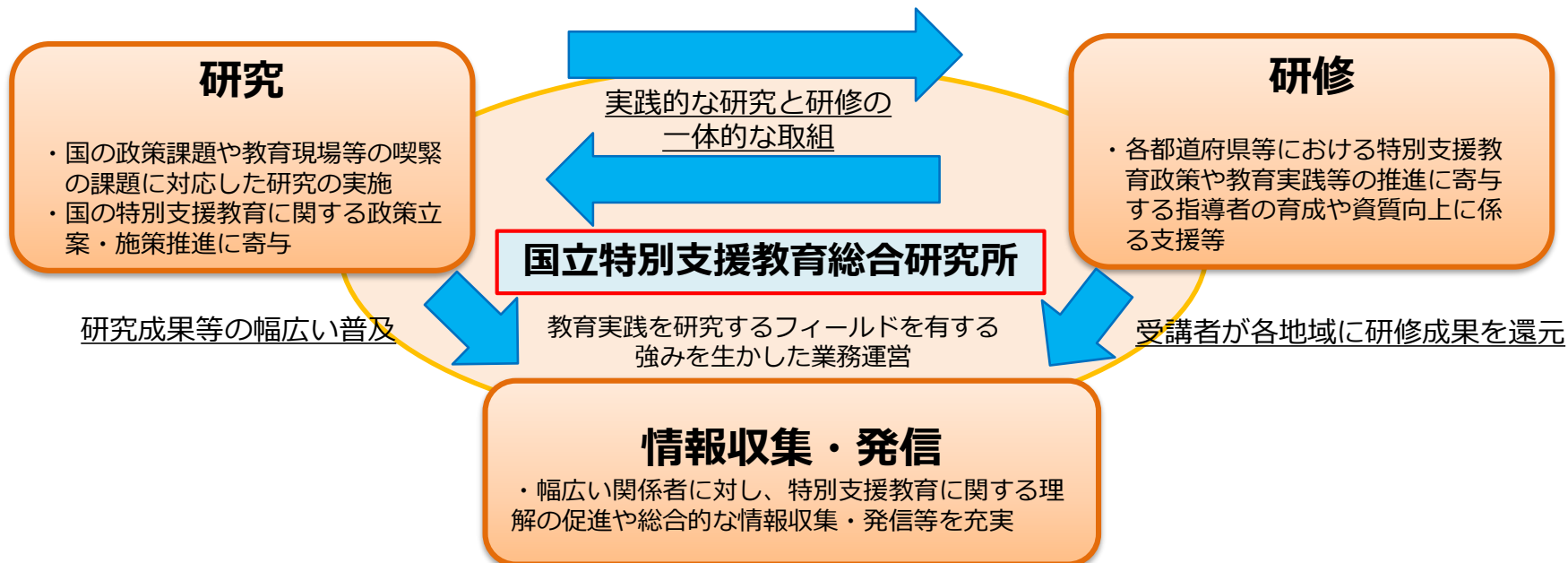
※第5期中期目標（令和3年度～令和7年度）

障害者の権利に関する条約の批准を受け、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育を推進

法人の使命

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向け、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、**教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら**、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献する。

第5期中期目標期間における目標



<久里浜特別支援学校を始めとする様々な特別支援学校等や、特別支援教育以外を専門とする研究機関や関係機関との連携強化>

Ⅱ 研究所の活動

2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



第5期中期目標期間（令和3年度～7年度） における研究の方向性

基本方針

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッションとする。

インクルーシブ教育システムの構築、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に寄与するため、国、地方公共団体、大学、研究機関、学校等関係機関との連携を強化するとともに、研究所の役割をさらに明確にし、国の政策課題や教育現場の喫緊の課題等に対応した研究活動を実施する。

第5期中期目標期間における研究体系

| 研究区分 | 研究の性格(研究期間) |
|----------|---|
| 重点課題研究 | 障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究(2~3年間)。 |
| 障害種別特定研究 | 各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究(原則2年間)。 |
| その他 | <p>基礎的研究活動: テーマ別研究班及び障害種別研究班における基盤的な研究。年次基礎調査や、指導の充実等に寄与する調査・分析、それらの結果の普及等の基礎的・継続的な研究活動。</p> <p>先端的・先導的研究: 将来的な教育政策の検討資料や教育実践の選択肢を提示することを目標に行う研究(1~3年間)。</p> <p>国の要請等に応じた研究: 国の政策立案等に貢献することを目的とした研究。</p> <p>共同研究: 本研究所が大学や民間などの研究機関等と共同で行う研究。</p> <p>外部資金研究: 科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究。</p> <p>受託研究: 外部からの委託を受けて行う研究。</p> |

- 各障害種の枠を超えて組織的に取り組む「重点課題研究」を中心に、多様な研究を実施。
- 障害種別研究班及びテーマ別研究班(令和3年度に設置)による基盤的な研究活動の充実。
- 研究を戦略的かつ効果的に推進するため、研究課題に応じて外部の研究協力者や研究協力機関との連携を強化。

重点課題研究及び障害種別特定研究

重点課題研究

<令和5年度に実施している研究>

※進路指導チームは令和3年度から継続、その他は令和5年度開始

(1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)

- 特別支援教育に係る教育課程の基準等に関する研究 (教育課程チーム)

(2) 切れ目ない支援の充実に関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)

- 高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究(進路指導チーム)
- 多様な教育的ニーズのある子供の学びの場の充実に関する研究(学びの場チーム)
- 共生社会の担い手を育む教育に関する研究－障害理解教育の検討を中心に－(共生社会チーム)

障害種別特定研究

<令和5年度に実施している研究>

※令和5年度開始

- 肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究(肢体不自由ICTチーム)

重点課題研究及び障害種別特定研究

重点課題研究

<令和4年度に終了した研究>

(1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)

- 学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究

(2) 切れ目ない支援の充実にに関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)

- ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究
- 障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究
- 通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究

障害種別特定研究

<令和4年度に終了した研究>

- 知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究

重点課題研究及び障害種別特定研究

重点課題研究等の成果

<成果物>

- ・研究成果報告書
- ・研究成果報告書サマリー集
- ・ガイドブック
- ・リーフレット 等

<成果物の活用例>

- ・研修会やセミナーでの活用
- ・学校・教職員への提供
- ・研究や施策推進にあたっての参考資料

特別研究員の参画

- ・特別研究員(地域連携型)を本研究所に派遣し、共に研究を行う都道府県・指定都市を公募。
- ・特別研究員(地域連携型)は、教育委員会、教育センターで特別支援教育に関わる職員や、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員。
- ・申請のあった教職員を、特別研究員(地域連携型)として受け入れ、申請内容を基に参画する研究課題を決定。派遣元の教育委員会を研究協力機関に指定。
- ・特別研究員(地域連携型)は、指定の研究チームに所属し、本研究所の職員と共に研究活動を行う。地域の情報を研究チームに提供するとともに、成果を地域に還元する。
- ・令和5年度の特別研究員(3県より4名が参画)
 - 青森県(教育課程チーム)
 - 埼玉県(教育課程チーム)
 - 静岡県(教育課程チーム、学びの場チーム)

基礎的研究活動

テーマ別研究

社会的背景等から必要なテーマ別研究班を設置し、関係団体との連携を図りながら基礎的研究活動を行い、その成果を重点課題研究や国の政策立案等に生かす。

- ①ICT班 : 特別支援教育におけるICT、教材・教具の活用に関する研究班
- ②キャリア班 : 障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究班
- ③幼児班 : 乳幼児期の特別支援教育に関する研究班
- ④外国人等班 : 外国につながるのある子供の特別支援教育に関する研究班

障害種別研究

障害種別の研究班においては「障害種別特定研究」のほか、「基礎的研究活動」（各教育分野の指導の充実等に寄与する資料の収集や調査・分析、各教育分野の実態等を定期的に把握・分析することを目的とした年次基礎調査、それらの結果の普及等、当該障害種に係る基礎的・継続的な研究活動）を行う。

- ①視覚班、②聴覚班、③知的班、④肢体不自由班、⑤病弱班、⑥言語班、⑦自閉症班、⑧発達・情緒班、⑨重複班

研究成果の還元

研究成果は、事例集やリーフレット等としてウェブサイトに掲載しており、ダウンロードして活用できます。また、メールマガジンでの発信や研修事業、研究所セミナーでも普及を図っています。



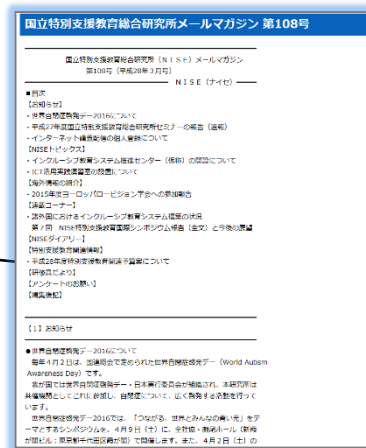
研究成果報告書



事例集



リーフレット



メールマガジン



刊行物(市販)



研修事業(集合型実施時の様子)



研究所セミナー(集合型開催時の様子)

研究成果についてはこちらから御覧いただけます

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications

障害種別研究班等の最近のパンフレット等



視覚障害教育



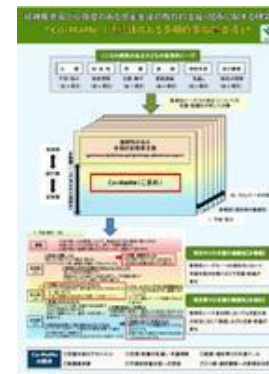
聴覚障害教育



肢体不自由教育



知的障害教育



病弱・身体虚弱教育



自閉症教育



発達障害・情緒障害教育



言語障害教育



重複障害教育



インクルーシブ教育システム



教育課程に関する研究

研究成果についてはこちらから御覧いただけます
https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications

Ⅱ 研究所の活動

2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



研修事業

(1) 国の政策課題や教育現場のニーズ等に対応できる指導者の専門性の向上

- ・ 各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導的立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修を実施する。
- ・ 研修目的に留意しつつ、宿泊及びオンラインを適切に組み合わせ、講義のほか、研究所の研究の成果を踏まえた演習・研究協議、フィールドワーク等の形式を多く取り入れるなど工夫し、学術的な理論に裏打ちされた実践的かつ効果的な研修を実施すること。

(2) 各都道府県等が実施する教員の資質向上に関わる支援

- ・ 多様な学びの場に対応した講義配信コンテンツの計画的な整備を図り、インターネットにより学校教育関係者等へ配信すること。
- ・ 特別支援学校教諭免許状取得率向上のために免許法認定通信教育及び免許法認定講習を実施するとともに、大学等が開設する講習への協力、受講者が受講しやすくなる環境・方策及び科目・単位の拡充の可能性について検討すること。
- ・ 大学等と連携して、教員養成段階の学生等を対象とした特別支援教育に関する専門的な講習を実施すること。

NISE 研修体系

教員のキャリアステージ

教員養成大学等

第3ステージ
広い視野で組織的な運営

第2ステージ
専門性を高めスクールリーダーとして推進力を発揮

第1ステージ
実践力を磨き教職の基礎固め

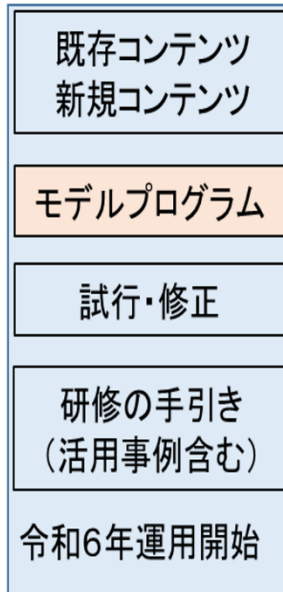
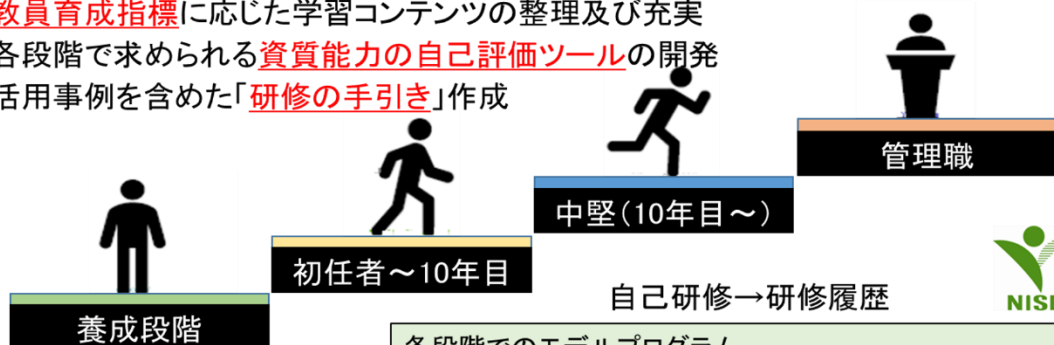
準備段階
必要最低限の基礎的な学修

| 目的 | 対象 | 形態 | 名称・内容 | |
|------------|--------------------|---------------------------------|--|---|
| 指導者の養成 | 第2ステージ及び第3ステージの教職員 | 来所若しくはオンライン、又は来所とオンラインを組み合わせる研修 | 特別支援教育専門研修 | 障害種別のコース・プログラムで実施 (視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害、情緒障害、言語障害) |
| | | | インクルーシブ教育システムの実に関わる指導者研究協議会・セミナー | 特別支援教育施策上や教育現場等の喫緊の課題について実施 ・特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会 ・高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会 ・交流及び共同学習推進指導者研究協議会 ・発達障害教育実践セミナー |
| | | | 連携研修 | ・特別支援学校寄宿舎指導実践協議会 (全国特別支援学校長会と連携) |
| | | | その他の研修 | ・上記以外の研修会 |
| 資質向上のための支援 | 第1ステージから第3ステージの教職員 | インターネットを活用した研修 | 講義配信 NISE学びラボ (対象:教員養成等の準備段階を含む) | 特別支援教育に関する基礎知識、各障害種の概論、指導方法等に関する講義を配信 ・個人研修支援(スタディー・ログの充実) ・研修プログラムの提供 ・団体登録による自治体や学校の研修を支援 (プログラムの作成、視聴証明書の発行等) |
| | | | 免許法認定 通信教育 | 視覚障害教育領域及び聴覚障害教育領域 「教育課程及び指導法」と「心理、生理及び病理」 |

➤ スクールリーダー: 中核的中堅教員として、将来管理職となる者も含め、学校単位や地域単位の教員組織・集団の中で、中核的・指導的な役割を果たすことが期待される教員

教師の学びを支援する「NISE学びのアシスト」

1. **教員育成指標**に応じた学習コンテンツの整理及び充実
2. 各段階で求められる**資質能力の自己評価ツール**の開発
3. 活用事例を含めた「**研修の手引き**」作成



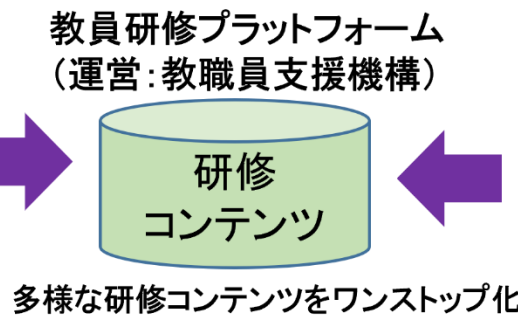
各段階でのモデルプログラム

- ・テーマ
- ・目標
- ・コンテンツ
- ・課題(演習・ワーク等)
- ・自己評価(理解度チェックテスト、チェックリスト等)
- ・視聴修了証明書の発行(研修履歴)

インターネットによる講義配信
NISE 学びラボ
～ 特別支援教育eラーニング ～

- ◆ 特別支援教育全般コンテンツ
- ◆ 障害種別コンテンツ
- ◆ 職能別コンテンツ
- ◆ 学校種別コンテンツ

- 教師の研修履歴の記録(義務付け)
- この記録を活用した教師の資質向上に関する指導助言等を行う仕組みが制度化



コンテンツの考え方

成果確認が必要

- ◆ 確認テスト等の作成 個々のコンテンツ 研修プログラム
- ◆ 演習・ワーク等の作成 モデルプログラム



令和5年4月に各都道府県・指定都市教育委員会及び教育センターに「**研修の手引き(試案)**」をお送りしました。ご意見等、お寄せください。
令和5年度末には、**バージョンアップした「研修の手引き」**をお送りします！

NISEの研修、ぜひ、ご活用ください！

Ⅱ 研究所の活動

2. 使命・目標を踏まえた研究所の活動

- ① 研究活動
- ② 研修事業
- ③ 情報普及活動



情報・支援部の業務～情報発信の充実～

○ホームページの充実

- ✓トップページからニーズの高いページに、ワンクリックでアクセス
- ✓利用者が素早く目的の情報取得できるように、カテゴリー別にメニューボタンを配置
- ✓報告書・資料ページに研究成果等の更新情報を掲載



○特別支援学校寄宿舎指導実践協議会（令和5年8月22日に開催）

特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の生活指導等に関して、各都道府県等の寄宿舎指導員による実践発表、情報交換等を行い、寄宿舎における指導の充実を図る。

情報発信の充実

○特別支援教育リーフの作成、刊行

幼稚園等、小・中学校、高等学校等で特別支援教育の指導の経験のない又は経験年数の少ない教員に対する特別支援教育の理解啓発・普及を目的としたリーフレットを作成。

(現在、刊行済み)

Vol.1 「ここからはじめてみよう、特別支援学級」

Vol.2 「障害のある子供も共に楽しむ体育の授業」

Vol.3 「学習や生活を豊かにするICT」

Vol.4 「多様性の理解につながる『障害理解』」

Vol.5 「このように考えよう、合理的配慮」

Vol.6 活用してみよう、「センター的機能」

ホームページよりダウンロードできます

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series

特別支援教育リーフ
シリーズ

初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生へ
特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生へ

まずはここから
こんな子いませんか？
こんな取組、
してみませんか？

特別支援教育リーフは、小・中学校等で初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生に向けて、障害のある児童生徒がそれぞれの学びの場でより良く学び充実した学校生活を送れるようになるためには、どのように取組んでいくと良いか考えていくためのきっかけとなる内容をまとめ、取組のヒントとなる情報を記載しています。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 (NISE)
情報・支援部
〒239-8585 神奈川県横浜須賀野比5丁目1番1号
電話：046-839-6803 (代表)
https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series

情報発信の充実

○特別支援教育教材ポータルサイトの充実

特別支援教育教材ポータルサイトの充実等により、幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校の全ての学校において、ICT機器等の教材を広く普及させるための取組を実施する。

障害のある幼児児童生徒一人ひとりの状態や特性などに応じた支援機器等教材に関する活用方法や取組事例などの情報提供ポータルサイトです。（H27.3～）

<http://kyozai.nise.go.jp/>

「教材・支援機器」をキーワードや条件で絞り込んで検索します

「実践事例」をキーワードや条件で絞り込んで検索します

「教材・支援機器」と「実践事例」が相互に参照できます。

普及活動

展示会の開催

- 支援機器等教材の教育現場における活用方法や事例を紹介するための展示会を開催。



研修会の実施

- 各都道府県の指導者層を対象に支援機器等教材を活用した実践研修を実施



教育支援機器教材等の紹介

ICT活用実践演習室 [あしたの教室]の活用

通常の学級での授業環境、障害や困難さがある児童生徒が共に学ぶために、ICT機器を使って、どのような支援ができるかを、考えるための研修や演習を行う教室です。



(ICT機器を活用した通常の学級の授業を体験)

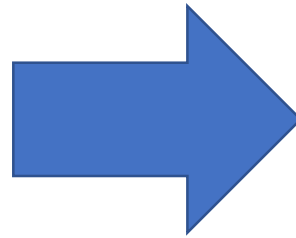
教育支援機器等展示室 [iライブラリー]

障害のある子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウェアの展示室です。主に、学校で利用可能な市販品を障害種ごとにコーナーを設け、説明パネル等を使ってわかりやすく紹介しています。



情報発信の充実

○文科省情報ひろばの特総研コーナーを更新



今後も随時更新予定。

校長会等の連携

関係する校長会等

校長会等との関係強化を図り、関係団体が主催する各種会議等を活用して、効率的・効果的に特別支援教育に関する情報を普及する。

特別支援教育センター協議会

事務局：本研究所

幼保・小・中・高等学校

全国公立幼稚園・こども園長会

全日本私立幼稚園連合会

(公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構)

全国保育協議会

全国連合小学校長会

日本私立小学校連合会

全日本中学校長会

日本私立中学高等学校連合会

全国高等学校長協会

全国特別支援教育推進連盟

特別支援教育

全国特別支援学校長会

全国盲学校長会

全国聾学校長会

全国特別支援学校知的障害教育校長会

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

全国特別支援学校病弱教育校長会

全国特別支援学級・通級指導教室
設置学校長協会

全国盲学校PTA連合会

全国聾学校PTA連合会

全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

全国病弱虚弱教育学校PTA連合会

全国国立大学附属学校PTA連合会

日本肢体不自由協会

全国重症心身障害児(者)を守る会

全国視覚障害児(者)親の会

盲ろうの子とその家族の会 ふうわ

全国LD親の会

日本自閉症協会

全国手を繋ぐ育成会連合会

全国肢体不自由児者父母の会連合会

【全国病弱・障害児の教育推進連合会】

日本てんかん協会

日本筋ジストロフィー協会

全国ことばを育む会

全国心臓病の子どもを守る会

日本人学校への相談支援

- ①日本人学校に対して、特別支援教育に関する情報提供を定期的（年15回程度）に実施する。
- ②日本人学校を通して教員や保護者からの相談に対応し、支援する。
- ③日本人学校等在外教育施設に赴任する教員（管理職等）の研修会や保護者等への相談会において、情報提供を行う。

特別支援教育推進セミナー

目的

地域における特別支援教育の理解啓発を図るため、教育委員会、特別支援教育センター、関係団体等及び大学と連携を図りながら、インクルーシブ教育システムの構築・推進に寄与する。

開催形式

昨今の教育課題に対応した特別支援教育に関する講義や、実践発表、研究協議を実施。

全国を6ブロック（北海道・東北ブロック、関東甲信越ブロック、東海・北陸ブロック、近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロック）に分け、参加者はブロック内の他の自治体や学校の参加者と交流を図ることで、新たな視点や知見を広げる機会とする。

令和4年度は、関東甲信越ブロック、東海・北陸ブロック、近畿ブロックで開催。

○中国・四国ブロック対象

日時

令和5年9月14日（木）11時～17時

テーマ

「学校現場における組織的なICT活用の実際」

○北海道・東北ブロック対象

日時

令和5年9月15日（金）13時～17時

テーマ

地域におけるインクルーシブ教育システムの推進ー共生社会の実現に向けて「共に学び、共に生きる」ー

○九州ブロック対象

日時

令和5年11月24日（金）13時～17時

テーマ

「保護者や関係機関との連携による発達障害のある子供の理解と支援」

研究所セミナー

1. 日程

令和6年3月3日（日）

2. 開催方法

対面とオンラインのハイブリッド形式(予定)

3. 開催場所

一橋講堂

4. 主な内容(予定)

- ・ 辻村賞授賞式及び記念講演
- ・ 文部科学省行政説明
- ・ 基調講演
- ・ シンポジウム
- ・ 研究テーマ別分科会
- ・ 研究活動等のオンデマンド配信 等



令和4年度研究所セミナーの様子



分科会の様子

イベント紹介

研究所公開

日 程 令和5年11月3日（金）
場 所 国立特別支援教育総合研究所
（神奈川県横須賀市）



研究所を身近に感じていただける体験型のイベントです。

国立特別支援教育 総合研究所セミナー

日 程 令和6年3月3日（日）
開催方法 対面とオンラインのハイブリッド
形式(予定)
開催場所 一橋講堂



研究所の活動や研究成果を報告します。

特別支援教育 推進セミナー

日 程 令和5年 9月14日（木）
9月15日（金）
11月24日（金）
開催方法 オンライン形式
開催地 中国・四国ブロック
北海道・東北ブロック
九州ブロック



発達障害教育推進センターの主な業務

【情報発信】

発達障害教育推進センターWebサイト、発達障害ナビポータル
発達障害教育推進センター展示室公開
特別支援教育推進セミナー（九州ブロック）
特別支援教育リーフ（発達障害に関連するもの）

【人材育成】

発達障害教育実践セミナー
教育と福祉の連携推進に係るe-ラーニングコンテンツの普及

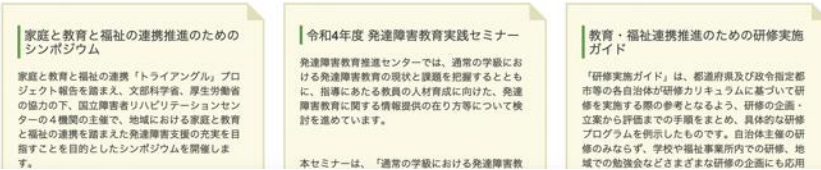
【機関連携】

世界自閉症啓発デー日本実行委員会
厚生労働省、国立障害者リハビリテーションセンター、発達障害者
支援センター等との連携

【センター事業】

通常の学級における発達障害教育に関する情報提供等の充実

Webサイトによる情報提供



主なコンテンツ

- ① 発達障害の理解
- ② 指導・支援
- ③ 研修講義動画
- ④ 発達障害Q&A
- ⑤ 発達障害に関する研究
- ⑥ 国の動向や法令等
- ⑦ イベントや研修会の情報

研修講義の一部はYouTubeでも視聴可





発達障害ナビポータル

<https://hattatsu.go.jp/>

発達障害ナビポータル
国が提供する発達障害に特化したポータルサイト

キーワードを入力

検索



ご本人・ご家族の方

支援機関の方

発達障害ナビポータルは、厚生労働省と文部科学省の協力の下、国立障害者リハビリテーションセンター（発達障害情報・支援センター）と国立特別支援教育総合研究所（発達障害教育推進センター）の両センターが共同で運用する発達障害に関する情報に特化したポータルサイトです。

発達障害の視点からまとめた「生徒指導リーフS」

国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センターでは、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターと共同で、発達障害のある児童生徒の「生徒指導」や発達障害の不登校リスクと予防についてわかりやすく解説した「生徒指導リーフS」を作成しました。

「生徒指導リーフS」のご紹介

- 発達障害教育推進センターについて
- 「生徒指導リーフS」のご紹介
- 世界自閉症啓発デーについて

| ご本人・ご家族 | |
|---------------|---|
| 乳幼児期 | |
| 学童期・思春期 | |
| 青年期・成人期 | |
| 保護者・家族向け | |
| 働く | ▼ |
| 暮らし | ▼ |
| 特集 | |
| お知らせ | |
| トピックス | |
| イベント | |
| 情報検索ツール『ココみて』 | |

- 国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。
- 発達障害に関する信頼のおける情報を提供します。

共同運営

- 厚生労働省
- 国立障害者リハビリテーションセンター
- 文部科学省
- 国立特別支援教育総合研究所

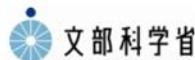


厚生労働省



National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

国立障害者リハビリテーションセンター



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所



発達障害教育推進センター展示室

発達障害に関する理解の促進、適切な対応や支援の充実を目的として、ライフステージに応じた教材・教具や支援ツールの展示、パネル展示や参考図書・映画の紹介、体験的な理解ができるコーナーなどを常設



「トライアングル」プロジェクト関連事業

背景

障害のある子供たちへの支援にあたっては、行政分野を超えた連携が不可欠であり、

「**家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト**」報告において、以下の課題が挙げられた。

- 教育や福祉の分野において発達障害者支援にあたる人材が身に着けるべき専門性を整理し、各自治体の指導的立場となる者に対する研修の在り方等、教育や福祉の現場にその成果を普及させる方策を検討すること
- 国立特別支援教育総合研究所と国立障害者リハビリテーションセンター双方のHPについて、教育分野における支援、福祉分野における支援に係る情報を保護者等が活用しやすいように工夫すること

概要

発達障害に係る教育と福祉の支援者の専門性の在り方に関する検討会議の設置



検討会議（有識者、教員、医療、保健、労働、福祉関係者、保護者代表）
事務局（特総研、国リハ、文部科学省、厚生労働省）

検討事項

- ・ 教育と福祉の連携・協働の課題の把握
- ・ 発達障害支援の専門性の整理
- ・ 連携・協働の専門性に関する研修の在り方の検討

文科省



特総研

厚労省



国リハ

連携



成果

- ◎ 連携・協働のための研修カリキュラムの作成
(研修実施ガイド、eラーニングコンテンツの作成)
- ◎ 発達障害に関する国のポータルサイトの新設

連携・協働のための研修カリキュラム

- ・連携・協働するために基本となる専門性を「共通分野」と「専門分野」に分けてまとめた。
- ・項目の解説と内容を明示するとともに、研修講座の具体例を挙げた。
- ・到達指標を初級、中級、上級に分け、経験に応じた「指標」で学ぶことができるようにした。

【共通分野】

| A 基礎知識 | B 指導・支援 | C 家族支援 | D 地域連携・協働 | E 法令・制度・施策 | F 権利擁護 |
|---|---|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●発達障害の障害特性の理解 ●発達心理 ●切れ目のない支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●アセスメント ●支援の計画の作成と活用 ●特性に応じた指導・支援 ●併存障害の理解と対応（二次的な問題） ●就業(就労)支援 ●生活・余暇支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●早期発見 早期支援 ●家族・保護者支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●他の分野との連携 (保健・医療・労働等) | <ul style="list-style-type: none"> ●発達障害者支援法 | <ul style="list-style-type: none"> ●障害者の権利に関する条約及び児童の権利に関する条約 |

「連携・協働」のための研修カリキュラム

発達障害に係る教育と福祉連携推進の
専門性と研修の
報告

「連携・協働」に関する研修

令和2年

独立行政法人国立特別支援教育総合
国立障害者リハビリテーションセン

令和4年

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進
国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援

教育・福祉連携推進のための 研修実施ガイド

A-1-② 発達障害の障害特性の理解

障害者の交通、障害者基本法、障害者権利条約、発達障害者支援法について解説しています。



eラーニングコンテンツ（モデル研修動画集）

研修カリキュラム（共通項目14テーマ）のeラーニングコンテンツの一覧です。各テーマは「概要」といくつかの「サブコンテンツ」で構成されています。まずは「概要」でテーマの内容や到達目標等をご確認の上、サブコンテンツを視聴してください。
※研修動画及び資料も、個人の学習及び研修目的以外の二次利用（複製、転用等）や営利目的で使用することを固く禁じます

【eラーニングコンテンツの使い方】

1. 視聴者情報の【視聴の目的】【施設・機関の所在地】【分野】【施設・機関の種類】（全て必須）を選択してください
2. 視聴者情報を設定後、視聴したいコンテンツを選択してください
3. 研修動画が自動的に再生されます。また、研修資料をダウンロードできます。

【注意】端末やブラウザなど、お使いの環境によっては自動再生できない場合があります。自動再生されない場合、動画プレーヤーの再生ボタンを押す等の操作が必要です。

1. 動画視聴後、研修動画に関するアンケートにご協力ください

令和4年

視聴者情報 **研修実施ガイド作成のための研修動画集**

【視聴の目的】 個人学習 研修企画・準備 研修会 その他

【施設・機関の所在地】 神奈川県

【分野】 教育 福祉 医療・保健 労働 その他

【施設・機関の種類】 その他

| テーマ | 研修動画タイトル | 所要時間(分) |
|---------------------|--------------------|---------|
| A-1 発達障害の障害特性の理解 | ① 概要 | 2分23秒 |
| | ② 発達障害の障害特性の理解 | 19分20秒 |
| | ③ 発達障害の基本的理解 概念と定義 | 24分28秒 |
| | ④ 発達障害の基本的理解 分類と特性 | 26分42秒 |

研修実施ガイド、そしてeラーニングコンテンツを作成

発達障害教育実践セミナー

令和5年度は、教師の人材育成を担う都道府県・指定都市の教育委員会及び教育センターの研修担当の指導主事等を対象とし、「通常の学級における発達障害教育の充実に向けた人材育成」に関する取組の推進に寄与することを目的に開催。

テーマ 「通常の学級における発達障害教育の充実に向けた展望と人材育成」

内容：パネルディスカッション、取組紹介、情報交換会

対象：都道府県・指定都市の教育委員会及び教育センターの指導主事等

期日：令和6年1月25日（木）9時30分～15時30分

形式：オンラインセミナー（Zoom ミーティング）

*「パネルディスカッション」「取組紹介」は、
You Tube 同時配信

詳細は当センターHPに掲載予定↓

<http://cpedd.nise.go.jp/r5-seminar>



～昨年度の様子～



通常の学級における発達障害教育に関する 情報提供等の充実事業（R4～6年度）

【事業概要】

文部科学省で実施された「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の結果及び「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議」の報告を踏まえながら、外部検討会議委員と、協力者に文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官を依頼して、教育行政、教員研修、教員養成、学校管理職、通級担当、保護者、福祉機関の立場から報告や提言から、学校現場のニーズに応えるための具体策を検討し、発達障害教育推進センターのウェブサイトの改善に資する。

発達障害教育の情報提供等にかかる検討会議の設置
（令和4年度から令和6年度）（実施中）

毎年
4/2は

国連の定めた 世界自閉症啓発デー



※国連が定める啓発デーには、3月21日の「世界ダウン症の日」もあります。

発達障害啓発週間 4月2日～8日



123
SESAME STREET

セサミストリートには、多様な個性がキャラクターがたくさん登場します。オレンジ色の髪をした女の子「ジュリア」は、自閉症の特性があるキャラクターです。

世界自閉症啓発デー

毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デーです。また、4月2日から4月8日まで「発達障害啓発週間」となります。

国立特別支援教育総合研究所
(共催団体の1つ 実行委員会へ参画)

日本各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会公式サイト
<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

啓発デー



#世界自閉症啓発デー

応援メッセージを募集しています

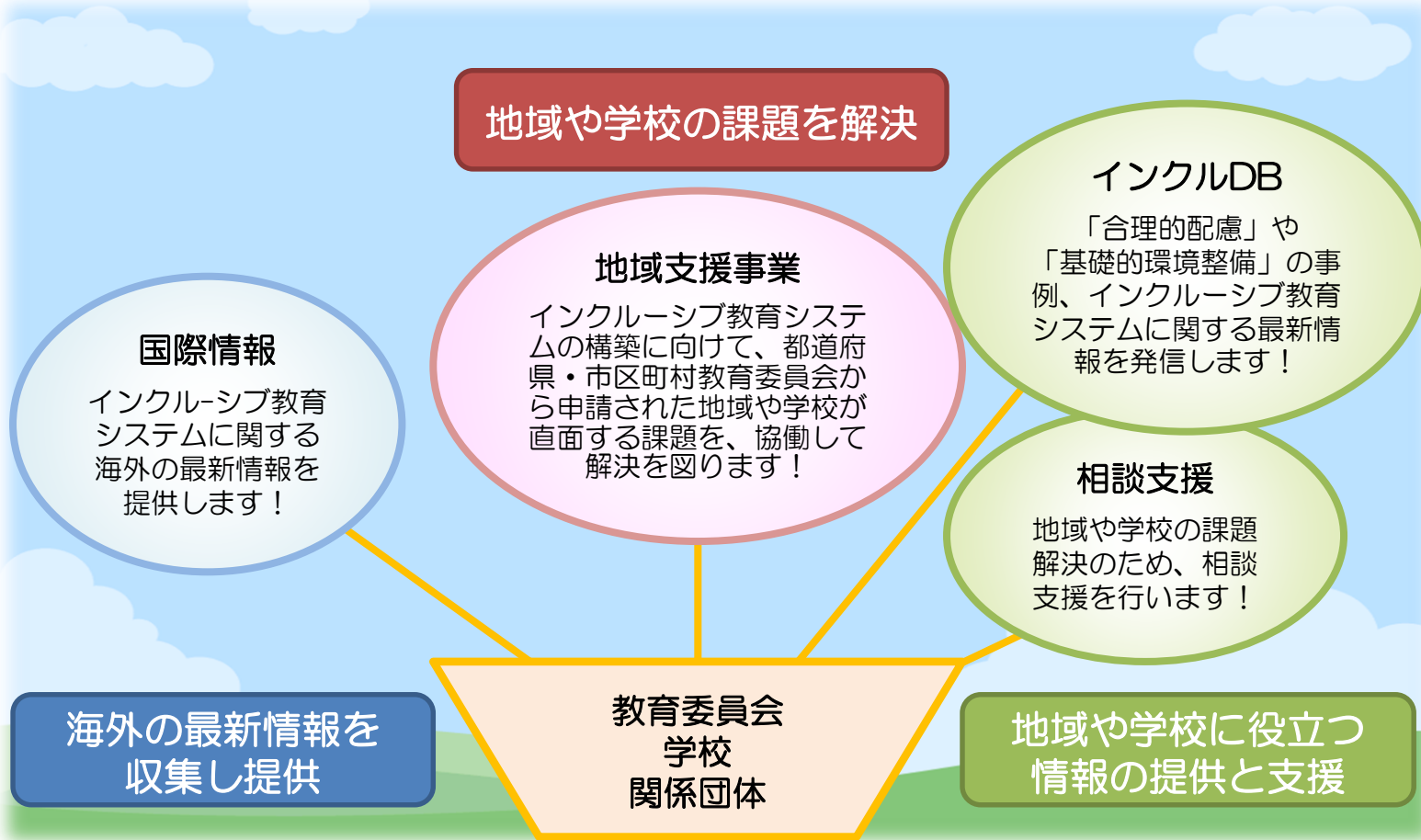
主催 厚生労働省(発達障害情報・支援センター) 一般社団法人日本自閉症協会

共催 文部科学省 国立特別支援教育総合研究所 全日本自閉症支援者協会 日本自閉症スペクトラム学会 日本発達障害ネットワーク 発達障害者支援センター全国連絡協議会 全国情緒障害教育研究会 全国児童発達支援協議会 自閉症児者を家族にもつ医師・歯科医師の会 国立重度知的障害者総合施設のみのもろ

お問い合わせ先 一般社団法人日本自閉症協会 Tel.03-3545-3380 Fax.03-3545-3381 asj@autism.or.jp

インクルーシブ教育システム推進センター

インクルーシブ教育システムの構築を一層推進するため、
地域や学校の取組を強力にバックアップします。



トウインクルSUN
インクルーシブ教育システム推進センター
イメージキャラクター



主として以下の3事業を実施しています



① 地域支援事業

教育委員会と連携・協働し、地域のインクルーシブ教育システム構築を推進



② 国際

インクルーシブ教育システム構築の国際的動向の把握と海外の研究機関との研究交流の推進

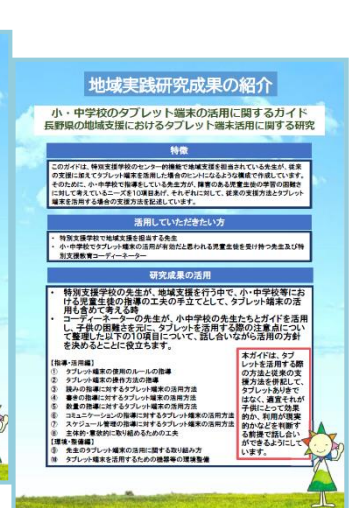
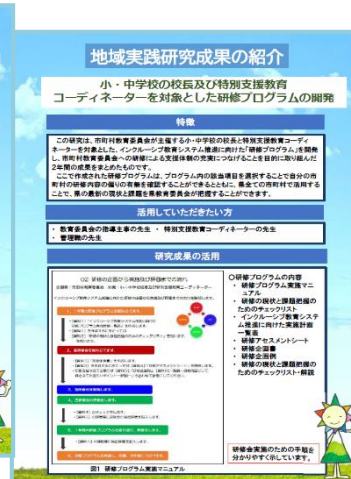


③ インクルDB

園・学校における合理的配慮を提供した事例等の発信、インクルDBを活用した研修等への協力、情報発信

教育委員会と研究所が連携して 地域のインクルーシブ教育システム構築を推進する事業です

- 研究所との連携により、インクルーシブ教育システム構築に関する課題解決に向けた取組を推進します
- これまでの「地域実践研究」の研究成果を活用できます
- 他の参加地域と情報交換することができます
- 事業の成果を、研究所と協働して地域に普及することができます



令和4年度の地域支援事業報告書
(13自治体の取組を掲載)

平成28年度～令和3年度地域実践研究の
成果をリーフレットでまとめました
インクルセンターのホームページをご覧ください

令和5年度 参加自治体 (16 県市区町)

- | | | | | |
|-------|---|------------|---|--------------|
| ・栃木県 |  | ・一戸町 (岩手県) |  | ・飯田市 (長野県) |
| ・山梨県 | | ・宮古市 (岩手県) | | ・犬山市 (愛知県) |
| ・広島県 | | ・下野市 (栃木県) | | ・阿久根市 (鹿児島県) |
| ・宮崎県 | | ・鴻巣市 (埼玉県) | | ・枕崎市 (鹿児島県) |
| ・沖縄県 | | ・吉川市 (埼玉県) | | |
| ・名古屋市 | | ・豊島区 (東京都) | | |

令和5年度 実施計画

- ・4月28日 事業説明会 (リモート)
- ・8月24日 推進プログラム (研究所)
- ・9月～ 交流スペース (リモート)
- ・3月上旬 事業報告会 (リモート)
各自自治体での報告会等



- 諸外国のインクルーシブ教育システムの最新動向を収集
 - アメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランド、韓国（8か国）
大学教員等に特任研究員として協力を依頼
 - 文科省、特別支援教育担当者会議、審議会等へ情報提供、「特総研ジャーナル」等で普及
- 海外の研究機関等との国際交流
 - 韓国国立特殊教育院との「日韓特別支援教育協議会」
日韓交互に主催。令和5年度は5月中旬に韓国で実施。
（理事長他3名訪韓）
 - 韓国国立特殊教育院実施の国際セミナーに派遣
- 海外からの視察・研修の受け入れ
 - JICAの研修プログラム等



- 文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」等で得られた「合理的配慮」の実践事例をデータベース化
- 令和4年度、25,102件事例事例ダウンロード
- オンラインセミナーの実施



研究所の動画サイト
(NISEチャンネル)
でご覧いただけます。
QRコードは、こちら →



インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）

インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）は、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる **590事例** を紹介しています

研修会での事例検討にも活用できます。インクルDBは、各学校の先生方だけでなく、保護者の方や広く一般の方々にもご利用いただくことができます

- ① Aさん、字を書くのが苦手で困っているみたい。なんとかしてあげたいな。



- ② そうだ！この前の研修会で「インクルDB」の話があった。早速調べてみよう。



- ③ 字を書くことに関するたくさんの事例がある。なるほど、こういう合理的配慮もあるんだ。



- ④ 保護者の方と支援の内容や方法について合意形成します。



- ⑤ Aさん、字が書きやすくなったみたい。よかった！



事例を
ダウンロード して
御活用ください！

インクルDBのページにはこちらから

インクルDB



メールマガジン、LINEのご案内

メールマガジン

毎月ご案内。

【 主な内容 】

- ・ NISEからのお知らせ
- ・ NISEに関するトピックス記事
- ・ 研究成果、海外情報の紹介
- ・ 特別支援教育関連情報



QRコードや下記のURLより登録が可能です。
https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/mail_mag

LINE

毎月2～3回ご案内。

【 主な内容 】

- ・ NISEからのお知らせ
- ・ HP未掲載のプチ情報



お知らせ

国立特別支援教育総合研究所に
関する情報は、

<https://www.nise.go.jp/nc/>にアクセス

または、

nise



で検索！

